

1 学校経営計画

(1) 教育理念

個々の特性や発達段階に応じて、それぞれの可能性を最大限に広げるとともに、社会参加や自立に必要な知識・技能・態度の育成を図り、一人ひとりの自己実現を支援する

(2) 合言葉 「いっしょけんめいに なにかができる人」

(3) 学校教育目標（目指す児童生徒像）

「自分らしく のびやかに たくましく」

【知】自分らしく学ぶ姿 【徳】のびやかで豊かな姿 【体】たくましく生きる姿

(4) 目標具現化の柱

ア 【守 る】 命を守り、人権を尊重する、安全・安心に過ごせる学校

イ 【育 む】 主体的に、自分らしく学び合う授業が充実する学校

ウ 【つなぐ】 家庭・地域とともに、自立・自律に必要なキャリア発達をつないでいく学校

(5) 本年度の取組

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア 守 る	自分と人を大切にする学校づくり	・挨拶と「さん」付の励行 ・障害の特性理解と人権意識の向上（強度行動障害に関する研修、SC研修、人権教育全体計画の見直し）	・自他を大切にするマナーや思いやりの気持ちや行動をとることができる児童生徒と教職員	生徒指導課 研修課 自立活動課
		・不祥事根絶研修（ポジティブタイム・アサーション研修） ・視覚支援、構造化、ゆとりある教室等整備による学習環境づくり ・目的を明確にした5W1Hでの情報共有や会議等の実践	・互いを認め合うことで、自分の役割にやりがいを感じ、チームティーチングの力を発揮できる教職員 ・居心地が良い教育環境を整備できる児童生徒と教職員 ・業務精選と時間内勤務を推進する教職員	企画会 各学部 研修課 連携課 自立活動課 事務部
	命を守る、危機管理と行動力の育成	・ヒヤリハットの迅速な共有と未然・再発防止対応 ・学校安全に関わる危機管理マニュアルの理解と訓練の実施 ・健康で丈夫な心身をつくる体育活動、食育、保健指導、自立活動	・未然の観点で点検と対応をし、日常的に児童生徒の安全を守る教職員 ・危険から学び、自らを守る行動や備えができる児童生徒と教職員 ・心身の健康づくりに取り組む児童生徒	安全課 保健体育課 生徒指導課 自立活動課 事務部
イ 育 む	主体的に自分らしく学び合う授業づくり	・適切な実態把握のための自立活動の研修と実践 ・目標と支援を明確にし、学習の成果（評価）を活かした授業改善 ・理解や表出をサポートする授業実践と教材・教具としてのICT活用	・児童生徒の興味や得意な力を伸ばす支援をチームで考える教職員 ・生き生きとした表出を促し、児童生徒と共に学びの質を向上できる教職員 ・「やりたい、分かった、次は〇〇したい」と主体的に学ぶ児童生徒	自立活動課 研修課 教務課 情報教育課
	豊かな心と表現力を高める教育の充実	・芸術、スポーツ、作品展示、外部活動等、表現活動への参加 ・読書や対話する時間に親しむ活動の推進	・自らの思いを伝え、表現することを喜びや楽しむことができる児童生徒 ・他者との関わりを通して、豊かな時間を感じる児童生徒と教職員、保護者	文化芸術課 連携課
	学び合い、高め合う働きがいのあるチームづくり	・OJT研修や学習会で学部を超えた対話での学びの充実 ・目的を共有し、チームで創るプロジェクト型実践の推進（授業実践、研修会、各種活動）	・自分事として、全員が学校運営に参画し、チームとして協働する教職員 ・日常的な情報共有や会議を意思決定や次の行動へとつなげることができる教職員	研修課 キャリア支援課
ウ つ な ぐ	キャリア発達をつなぐ学びと支援の充実	・個別の教育支援計画に基づくキャリア教育の充実 ・児童生徒の願いと将来を見据えた計画的な進路指導の推進	・様々な研修を通して、12年間のキャリア発達を学び合い、実践する（将来を見据えた指導ができる）教職員 ・児童生徒の願いやもつ力を保護者や関係機関と連携して支援できる教職員	教務課 キャリア支援課 連携課
	地域での学びと豊かな生活をつなぐ支援と発信	・ふじはぐプロジェクト（地域に根差した学校づくり）による人材活用、交流活動、協働活動等の推進 ・広報・情報発信とアンケート等による相互の関係作り	・様々な交流活動がインクルーシブ教育の推進につながることを説明できる教職員 ・地域での取り組みが、児童生徒の学びに役立った、つながったと分かる教職員、保護者	連携課 文化芸術課 学校運営協議会

＜働き方改革＞達成方法：業務内容の精選をはかり、教職員一人一人がタイムマネジメントを推進する。
成果目標 ・平日は19:30退庁、定時退庁日（水）は18:00退庁 達成率90%。
・会議時間は1時間以内で終了 達成率90%。